〇機能内容

ログイン

・ログインができる

検索画面

・カテゴリ検索、キーワード検索

・複合検索(複数ワード可)

・並び替え検索(登録日の昇順/降順、アクセス数、完了/未完了)複合検索と一緒に使える

・カテゴリを自動入力できる

・モーダルウィンドウで検索処理を明記

・検索結果一覧に表示された質問タイトルをクリックすると質問内容表示画面に飛べる

履歴画面

・質問履歴と回答履歴でタブ切り替えが行える

・並び替え機能

・10件ごとに表示

・質問更新ボタンがあり、押すとその質問の更新ページに遷移する

・検索結果一覧に表示された質問タイトルをクリックすると質問内容表示画面に飛べる

・削除

・完了/未完了ボタン(質問登録したユーザーのみに表示)

登録画面

・タイトル、カテゴリ、質問内容

・ファイル添付

・カテゴリをプルダウンで登録

質問内容表示画面

・検索画面から遷移

・タイトル、氏名、質問内容、カテゴリ、更新日時、閲覧数、完了/未完了ボタンを表示

・回答ボタンを押すと、回答フォームが表示

・回答がされている場合、回答表示

・回答が多数ある場合は「その他の回答を表示」ボタンで全部見れる

・閲覧数のランキング表示

・質問カテゴリと同じカテゴリ別Qランキングが表示

・ランキングに表示された質問をクリックすると、その質問内容表示画面に遷移

質問/回答更新画面

・タイトル、カテゴリ、質問内容

・ファイル添付

・カテゴリをプルダウンで登録

・回答更新の場合はタイトルとカテゴリが質問内容に合わせて選択済み

ヘッダー

・各ページにヘッダー表示。これによりページ間の移動が円滑になる

・ダークモード

その他

・スマホ対応

・印刷

〇ファイル数

45

〇特に話したいこと

・複合検索

・CSS(デモンストレーション内で話す)

・

〇ユーザビリティについて追求したこと

・複合検索はユーザーが思うように使える

・ダークモード

・スマホ対応

・パスワードとメールアドレスはあらかじめこちらで設定

・ユーザーごとに使える機能(履歴、完了/未完了)。自分がどこが分からなかったのか明確化できる。

・slackと違いさかのぼれる。似たような悩みを検索しやすい

・自己解決しやすい環境づくり

・印刷機能の紹介

・天気等の遊び心

〇苦労話

・アルゴリズムでどう示せばいいか

・誰よりも質問回数が多い。自己解決を試みつつ、分からないことは臆さず聞くことができた

・検索機能で複合検索できるまでに1週間

・外部設計書が甘く、やっていくうちに新たな機能・問題が出てきた

・

・経験者らしく質問に対応できた(田島)上手く自分の意見を伝える

・機能を後回しにして保留にした。優先順位を考えて動けた

・gitでタスク管理→誰が何をしているかを視覚化できる

・楽しかった方が大きい(畔柳)

・構成管理→爆弾投下。環境整備、他の構成管理の人がIT経験者が多いので質問しまくり

・Javascriptのエラー対応

・リーダーとしてビジネスライクだけど親しみやすい雰囲気

IT経験キャッチフレーズ

〇Gar gar birdの由来

→皆さま!!!「世界の果てまでイってQ」でおなじみの出川イングリッシュご存じですか⁈出川さんは英語が全く喋れません。そんな出川さんが異国の地で積極的にコミュニケーションを取りに行く姿に感動しました。私たちもプログラミングスキルは低いですが、出川さんのように果敢に取り組んでいこうという思いから。出川イングリッシュの一つであるgar gar birdをチーム名にしました。

→出川さんのイラストにピー入れる

〇時間があったら取り組んでみたい機能

・管理者画面で全員の質問一覧をユーザーごとに表示できるようにしたら、受講生ごとの理解度を可視化できる

・お気に入り機能

・ユーザー登録画面

・ログインユーザーのアイコン

・

〇チームとしての結果/まとめ　よかったこと

・意見を皆が出せるようにチームワークを回せた

・適材適所→苦手を補い合えた、また挑戦できた

・分からないところは素直に聞く

→**一丸となって目標達成できた**

・Ｄ２が、一番質問力が向上したのでは

・優先順位をつけてタスク管理

・

〇他のメンバーからの声入れたらいいのでは？

自分の頑張ったところが目標達成できたのか他のメンバーから見たらどうか。皆からの声

〇PWのデザインの方向性

パワポの目的はあくまで補助。文字数は増やさない

補足資料を作るか、時間があれば？

パワポを見るだけでの発表の方が良いのか

テスト等の発表外での細かいこと

・落ち着いたオレンジ、質問回答の3色

課題管理表、

各開発工程でどのくらい時間をとったのか

各開発工程÷

企業担当が何を聞きたいのか、どう成長したのかを知りたい

ヒアリングからの根拠づけが低い

プレゼンをただ聞くだけではつまらないので、リスナーを巻き込むような方が覚えやすい。リスナー自身が考えるもの

クラスに問いかけるアンケートで数字をとるか

研修内で+蓄積